

郷土の偉大な芸術家の良さはどうしたら伝わる

高遠小学校5年生の子どもたちは郷土の偉大な芸術家である「池上秀畝」について宮川先生から教えていただいた後、実際にデジタルブックのスケッチを見てその素晴らしさに魅了されました。描かれているスケッチに息を吞んで見入ったあと、「リアルに描けている」「色づかいが繊細」「細かいところまでよく見ている」といった感想を持ちました。子どもたちは自分たちが感じた「秀畝の魅力」をデジタルブックにまとめていこうと、作品作りを始めました。



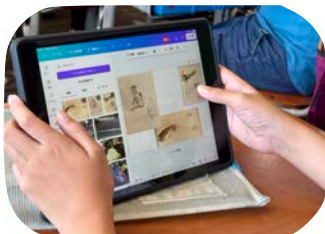
①宮川先生は「池上秀畝」の肖像画を掲示して「この人を知っていますか？」と子どもたちに尋ねた後、高遠出身の偉大な日本画家であることを紹介しました。



②池上秀畝について、デジタルブック「しゅうほさん？しゅうほさん！」に収められた動画を使って紹介すると、子どもたちはじっと見入っていました。



③iPadに収められている秀畝のスケッチブックをページを送り自由に見ながら、その素晴らしさに歓声をあげ、気に入ったスケッチを友だちと見せ合っていました。



④池上秀畝の良さを伝えるためのページをCanvaを使って作ることにしました。気に入ったブックのスケッチをスクリーンショットした後、切り抜きをすることで画面に貼り付けていきました。



⑤Canvaでチラシ風にページを作る子どもや、秀畝のスケッチが次々と入れ替わりながら動く動画を作る子どももいました。それぞれ、自分らしい表現方法を試していました。



⑥Canvaで作成した静止画や動画をダウンロードした後、Pagesに貼り付けて整えています。この後、解説の音声を入れたり、「画像ギャラリー」を使って複数の静止画を加えたりしていきます。

高遠小学校 5年 宮川達也先生の授業をもとに、推進センターで編集しました。



みんなの作品をデジタルブックにまとめよう

Pagesを使うと、簡単にデジタルブックを作成することができます。

デジタルブックと紙の本との違いは何でしょう。紙の本の場合には1ページの中に入れる写真の大きさや文章の量に制約がかかりますが、デジタルブックの場合には写真を大きく表示するなど表現の幅が広がります。ビデオやオーディオ、画像ギャラリーなどを使うとさらに表現の幅が広がります。旅行記や卒業文集などをブックで作成すれば今までとはかなり違ったものになりそうです。

Pagesでデジタルブックを作るまで

- ① テンプレートでは「ブック-縦」または「ブック-横」を選びます。
- ② メディアボタンをタップして写真やビデオをページに配置していきます。
- ③ 作品が出来上がったら「EPUB」で書き出します。

「EPUB」は電子書籍の標準のファイル形式です。対応するアプリケーションは多くiPadでは、Bookアプリを使って読むことができます。



「メディアボタン」をタップすることによって様々なメディアを追加していくことができます。

高遠小学校の子どもたちはCanvaで作成したページをダウンロードしていました。PNGやJPGは「画像」に保存されます。動画はMP4形式で「ビデオ」保存されます。操作が簡単にできるのについて長い動画を作ってしまうことがあります。最後に、全員の名前をデジタルブックにまとめようとする場合と全体の調整が必要になります。

学校で作成した動画がYouTubeなどで公開されている場合には、「Webビデオ」として挿入の方が良いでしょう。詳しくは、デジタルブック「しゅうほさん？しゅうほさん！」を参考にしてみてください。

「オーディオを録音」をタップすることによって子どもたちが作品への思いなどを直接音声として入れることができます。録音が終わると画面上に再生ボタンが表示されます。このボタンを上手に配置しましょう。ブックではこのボタンをタップすることによって録音した音声が流れるようになります。

「画像ギャラリー」をタップすることによって複数の写真などがスライドして表示されるようにすることができます。変化の様子を表現したい時などには非常に便利な機能です。理科の実験の反応前、反応後をスライドさせることによってわかりやすくする効果などがこれにあたります。

我が郷土の芸術家 池上秀畝（紹介ビデオ）



「Webビデオ」を使ってYouTubeの動画にリンクしています



秀畝の作品鑑賞のページです。オーディオ再生ボタンを押すと作品の解説が始まります。

ブック「しゅうほさん？しゅうほさん！」より (p3 (左) p5 (右))